すざくら〈学校だより〉

全国学力・学習状況調査結果号

令和８年１０月

京都市立朱雀第六小学校

校　長　滝　山　　泰　教

４月２３日に、本校６年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の２教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数・理科）

国語科・算数科ともに、全国平均・京都府平均を上回りました。解答を文章で書く問題もありましたが、「最後まで解答をしようと努力した」と答えた児童の割合が高く、子どもたちが問題にしっかりと向き合い、最後まであきらめないで取り組もうとしていたことが分かります。

国語科より

全体的に概ねよくできていましたが、「漢字を文の中で正しく使うことができる」ことに課題が見られました。タブレットなどの普及により、自身で字を書くことや語句・漢字を調べる機会が少なくなってきていますが、国語辞典や漢字辞典などを活用するとともに、普段から読書に親しむことも大切にしていきたいです。

算数科より

概ねよくできていましたが、「単位量当たりの大きさを求める式の意味の理解」に課題が見られました。問題場面をとらえて立式する際には、図や数直線なども活用しながら式の意味を理解することが大切です。今後も具体的な活動を通して理解を深めるとともに、量と割合の違いを図で表現するなどしながら、理解を確かなものにしていきたいと思います。

質問紙より

「学校に行くのは楽しい」「友だち関係に満足している」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある」の項目では、昨年度と同様に肯定的な回答が多く見られました。また、「自分にはよいところがある」と肯定的に回答している割合も高い結果となりました。今後も、教師や友だちとの関わりの中で互いの良さを認め合い、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように取り組んでいきます。

一方で、「自分で学び方を考え工夫する」「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組む」などの項目では課題が見られました。子どもたちの「自ら学ぶ力」を育むことができるよう、日々の授業のさらなる充実を図っていきたいと考えています。

全国学力学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりするためのものです。結果は学力の全てを表すものではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねによって定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。

今回の調査結果を今後の教育活動に生かし、各教科の学習を通して子どもたちが自ら課題を見つけ、考え、学び方を工夫できるような授業づくりを進めるとともに、一人一人のよさや可能性を認め合える学級づくりを大切にしていきます。学校教育目標の「ともに学び　自ら考え行動する朱六の子ども」の実現に向けて、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

